

第1回 幼小合同研修会

6月19日(水)、「第1回 幼小合同研修会」を行いました。教育委員会 小中学校課 幼児教育センター 指導主事 小林雅恵 先生、富山大学人間発達科学部付属幼稚園 元副園長 廣田仁美 先生を講師にお迎えしました。市内幼稚園、保育園(所)、認定こども園、小学校の先生方が参加しました。

①指導講話

幼児教育と小学校教育の特徴について



小林先生

幼児教育の学びのキーワードは「遊び込む」。小学校教育の学びのキーワードは「主体的・対話的で深い学び」。幼・小では、発達段階に合わせた方法で学んでいます。育みたい資質・能力には**系統性**があり、幼の学びが小の学びを支えています。

「遊び込む」「系統性」とは…幼：砂遊びを例に



「水を入れると固まりやすいね」
→知識及び技能の**基礎**
「お店屋さんになったら楽しそう」
→思考力、判断力、表現力の**基礎**
「できるまでがんばる！」
→学びに向かう力、人間性等

②グループワーク「子供の育ちをつなげよう」



廣田先生

互いの計画(幼：5歳児1～3月の保育計画 小：1年生4月の週案等)を見て、感想を伝えたり、質問したりしましょう。幼小の子供の**育ちをつなげる**ために、大切にしたい点や、見直していきたい点が見つかるかもしれません。



指導講話 幼・小教育の特徴について確認される先生方



グループワーク 保育計画・教育計画を見て、感想を伝え合う先生方



アドバイザー 廣田先生から

幼稚園、保育園(所)、認定こども園は、「どんなことをしてきたのか」「どんな力がついているのか(どんなつまずきがあるのか)」など(小1の活動を計画・検討する材料)を小学校に伝えられるとよいですね。小学校は、幼から情報を得て、幼と小の**ギャップを埋める配慮**をについて、考えられるとよいですね。

「ギャップを埋める配慮」とは…学習発表会練習を例に

ステージでずっと黙ったまま(発表しないな…)。どうしてかな。

ステージ高い。こわい。(幼とのギャップ)

(まずは、小学校のステージの高さに慣れてもらうおう)ステージに立って、ヤッホーってさげようよ(配慮)。

ヤッホー！(高さに)慣れてきた。できそう。

このように多岐にわたり、教えていただきました。

今後の予定

○7月～1月（各学校園）

5歳児・1年生の育ちをつなげられるような計画（接続プログラム）の素案をつくる。

○2月7日（金） 第2回 幼小合同研修会

今年度の実践をもとに、作成した計画（接続プログラム）を見直す。

受講者の感想（幼稚園、保育園（所）、認定こども園の先生方）

今日の研修を通して、お互いの保育計画、教育計画を見て気になった点や疑問に思った点等を聞き、知ることができた。子供の育ちを幼・保から小学校につないでいくためにも、幼児教育では、どんな力が身につけているのか小学校側に知ってもらい、伝えていくことを大切にしたい。また、小学校側の活動内容や計画内容も知ること、互いに寄り添いながら、幼保小の接続を進めていきたい。

保育園や小学校での生活・活動の様子を知ることができた。こういう活動をやっているんだ、こういう声かけがあるんだということが分かった。また小学校へ進級するにあたって、特に文字や数について、どう教えていけばよいか、活動していけばよいか分かり、今後に生かせようと思った。

1年生の実際の姿をざっくばらんに聞くことができた。園と小学校さんが認識の違いもあり、園での生活を知ってもらう、学校での生活を知る機会がもっとあればいい。接続カリキュラムをつくるにあたり、生活の部分のものをつくれればいいかと思う。

小学校就学に向けて、保育園で取り組んでいることが生かされたり、ここまでできるようにさせなければと思っていたことが、小学校スタートでも大丈夫だったりすることを知ることができた。その年度の子供たちや個々によって小学校生活をスムーズにスタートさせる支援の仕方は違うと思うので、小学校と連絡伝達を具体的にを行うことが大事だと思った。

受講者の感想（小学校の先生方）

今回の研修を通して、昨年までできたことが新しい環境になりできなくなっていたり、幼稚園、保育所で学んだことが今の小学校生活で大活躍したりしていて、たくさん聞いてよかったです。45分間の授業が楽しいと思えるような動きを入れて進めていけるように改めて考えるべきだと思いました。小学生までにできるようになったこと、子供たちが身につけた力を十分発揮できるよう、色々なことに挑戦できる場をつくるべきだと話し合いをして思いました。

幼保小交流会では顔を合わせたけれど、ちゃんとお話したことがなかったので、先生方と顔を合わせて話すことができありがたかったです。書類上の連携だけではできない話もたくさんできて、今後もこのようにやりとりができたらいいなと思いました。今の担任同士だけでは分からないこと（今までの1年生の取組、今の1年生が年長那时的様子等）もあるので、もっと広く人が集まって話すのもより具体的な話ができいいかなと思います。貴重な時間をありがとうございました。